

自治連だより

NO. 221

安全・安心・住みよい

地域づくりのため



●発行日 令和4年10月1日

●発行 斜里町自治会連合会

〒099-4192 斜里町本町12番地

斜里町役場内

☎0152-23-3131 内線141

不在日：土・日・月・祝日

自治会連合会役員と町理事者及び教育長との懇談会の開催

連合会



■8月25日(木)に開催された懇談会は、横田会長からは「なかなか先の見えないコロナ禍で限られた時間ですが、実りのある有意義な会にしたい」との挨拶がありました。馬場町長からは新型コロナウイルス感染症の斜里町での近況や、知床沖の遊覧船事故から4カ月が経過し未だ複数の行方不明者発見に至っていないこと、犠牲者のご家族に寄り添った言葉がありました。また、懇談会のテーマを共有し共に考えられる機会にしたいとの挨拶がありました。

懇談会テーマ ○連合会 ●斜里町

1. 地域医療の今後について

○国保病院との懇談会を開いて現状の課題、取組みに理解はしているが、町としてはどのようにとらえているか。

●大変厳しい経営状況は継続しており、現在、病院も努力している。一方、町民の安心のため、住み慣れた町で住み続けていくためには、「医療」は欠かせないものであり、町民の皆さんにもこのことを承知いただきたい。コロナ禍で受診の抑制がある中、経営改善に向けた様々な計画を着実に実施してきているが、コロナによる助成金等で増益した部分もあるが、診療収益においてはまだまだであり、是非、多くの方々へ国保病院をご利用いただきたい。

2. 斜里高校の存続について

○斜里中学校卒業生数と斜里高校入学者数の推移と、行政の志望者増に向けた取組みについてお願いします。

●10数年前までは中学校卒業生130~140名位、6~7割が斜里高校へ入学し町外からも10数名が入学していた。学級数も3クラスあった。今年は卒業生96名のうち斜里高校へ24名、町外から2名で全26名。令和2年から学級数は1クラス。支援策強化として、通学費全額支援、下宿代金の半分の助成、多様な学習支援、検定料・通信講座など主に保護者負担の軽減支援策を中心に行ってきました。

3. 増え続けるのら猫の問題について

●難しいのは猫好きな人と嫌いな人がいること。重要なことは、避妊・去勢手術をすること。それがされていないと、家の中でマーキングをするなどで飼えなくなり、家から離れてしまう。2019年の広報で取り上げたのですが、このテーマでまた特集をやりたいと思います。

斜里町 防災ウィーク セミナーに各自治会から参加しました



■斜里町では8月28日(日)～9月2日(金)までを「斜里町防災ウィーク」と位置付け、28日(日)には防災セミナーに各自治会から役員2名程度の参加を募り開催しました。セミナー第1部は「ウトロ地区における防災の取り組み」をウトロ地区防災連絡協議会桑島氏、第2部は「災害時も安心安全な地域をつくるために」を跡見学園女子大学鍵屋氏の講演を聞きました。また、道の駅しゃりでは31日(水)10時～16時まで災害備蓄品等展示会が行われました。小型簡易エアコンや充電器、折りたたみ簡易ベットの他に家具の固定具等設置コーナーもあり、訓練用AEDを使用した救急救命訓練も行っていました。



災害備蓄品展示

▼水を入れるだけでご飯が食べられるドライフード。お湯を入れるとさらに美味しい。来場してくれた人にプレゼント

▲救缶鳥(きゅうかんちょう)
缶入りソフトパンで賞味期限3年間のうち2年間は備蓄し、使用しなかった場合は残りの1年間で飢餓問題に苦しんでいる地域へ食料援助として届けるプロジェクト。



▲充電式メガホン
折りたたみ式で収納場所をとらない。316gと軽量。

花いっぱい運動 花だん紹介

環境衛生
部会



▲ウトロ自治会



▲豊倉北自治会